

川口発電所および五王堂発電所における発電量の増加について

当社は、1919年（大正8年）に別子銅山から発展した住友事業の電気部門として設立され、長い歴史に培われた技術と経験に基づき電力の安定供給という公共性の高い事業を通じて社会および地域と共に発展してきました。

当社は、愛媛県および高知県に11ヵ所、合計認可出力79,910kWの水力発電所を有しておりますが、東日本大震災による電力需給逼迫を受け、国はクリーンなエネルギーの増量を目的に水力発電に係る規制緩和など、多様な電源の活用を進める中、この度、国土交通省、経済産業省および関係各所のご協力のもと、川口発電所および五王堂発電所において、豊水時に発電設備の余力を活かし、発電量の増加を図ることと致しました。

水力発電は、国産資源としてのエネルギー安全保障上の価値や、稼働率が高いという安定供給上の価値、さらに地球にやさしいクリーンなエネルギーとしての多様な価値があり、当社はこうした取り組みを通じて、引き続き地球環境の保全および地域への貢献などの役割を果たしてまいります。

【概要】

1. 水力発電所
  - (1) 川口発電所  
立地点 高知県香美市  
発電出力 7,000kW から 7,200kW へ増加  
操業開始 1957年11月
  - (2) 五王堂発電所  
立地点 高知県香美市  
発電出力 11,100kW から 12,200kW へ増加  
操業開始 1960年7月
2. 運用開始  
2015年4月（両発電所とも）
3. CO<sub>2</sub>削減量（両発電所の合計）  
発電量増 3,300,000kWh/年  
CO<sub>2</sub>削減量 1,800t/年

以 上